

紙面に掲載されている映写機マークがある写真をスマホをかざすと写真が動く「AR」を導入しています。体験するには「Aurasma」アプリが必要です。導入方法などは町ホームページをご覧ください。「三芳町AR」で検索！



三芳町 AR 検索

おいしい給食、 ありがとう。

旧給食センターの稼働終了

新しい給食センターが完成したことにより、3月20日(金)、昭和47年から43年間、町内の小中学校に配膳していた給食センターの最後の給食となりました。旧施設で最後に作られたのは「エビフライ」。写真はおいしそうに食べる三芳小学校の子どもたち。食器も今年度から新しいものになります。



↑最後はエビフライ。ここで作られるのはこの日で最後となりました。



新学校生活を見守るワッペンを

→ワッペンには交通事故傷害保険もついています。



3月18日(木)、みずほ銀行から町内5つの小学校の新1年生へ「黄色いワッペン」が贈呈されました。元気に通学する子どもたちの交通事故防止のために昭和40年から始まったこの事業は今年で51年を迎えました。毎年全国の新1年生に渡し、(表紙の子どもの腕にもあります)子どもたちの交通安全にいかされています。

安全に学校に通うためにできること

→交通安全母の会と東入間交通安全協会の皆さん



3月25日(木)、新1年生の交通事故防止を図るため、交通安全母の会から「交通安全啓発クリアファイル」を、東入間交通安全協会から「交通安全の小冊子」と「れんらくケース」などが寄贈されました。2団体とも、住民の皆さんが安心・安全に暮らせるよう、交通広報や啓発事業など各種交通安全活動を展開しています。

三芳地区更生保護女性会が善意の寄付

→町内各小中学校の教育活動の充実に活用されます。



3月27日(金)、三芳地区更生保護女性会の皆さんが、募金活動で集めたお金を、教育活動の充実のためにと町内の各小中学校へ寄付してくれました。町内の子どもたちのために、日ごろから各学校の教育活動にさまざまな形で支援、そして地域のために多くの協力をしているのがこの三芳地区更生保護女性会です。

いざ、というときの防犯ブザー

→トラック型のブザーを贈呈。



4月1日(木)、埼玉県トラック協会から、4月から小学校へ通う町内の新1年生に「光トラック型防犯ブザー」が贈呈されました。トラック協会は日ごろから常に交通安全教育や社会貢献に取り組んでいます。今回の寄贈もその取り組みのひとつ。子どもの安全を地域で守る試みを積極的に進めています。

フォトニュースに掲載しきれないイベントや写真は町のFacebook「いいね！三芳町。」で配信中。ロゴがあるイベントは関連した情報などをFacebookで公開しています。

三芳町の魅力を全国へ 里山体験ブース出展

SATOYAMA&SATOUMI2015

3月28日(土)・29日(日)にパシフィコ横浜で行われた里山里海イベントに三芳町が初めて参加しました。三芳町広報大使の吉澤ひとみさんと℃-uteの矢島舞美さんらも三芳町のブースを訪れ、里山体験。増刷された広報みよしも配布し、三芳町の魅力を全国にお届けすることができました。



↑モーニング娘。OGの辻希美さんも天秤棒を担いで里山体験。

↓カップに分けられたホタルの幼虫をそっと沢に放ちます。



↓役場前では記念写真を撮る家族の姿が多く見られました。



成虫になったらまた会おうね こぶしの里でホタルの幼虫放流

4月10日(金)、竹間沢小学校の児童がこぶしの里にホタルの幼虫を放流しました。この取り組みは、地元の有志で結成された「竹間沢ホタル育成会」の皆さんが「自分たちが子どもの頃に見たホタルの光を今の子どもたちに見せたい」という思いから、平成14年に始まりました。今年も5月下旬から6月上旬までこぶしの里を舞うホタルを見ることができるとのことです。

春の訪れを役場前の桜並木で 町内の各所で桜が満開。春到来。

今年4月1日(木)に満開となった桜。役場前のグラウンドの桜並木は町内でも屈指のお花見スポット。花見を楽しむ家族の姿や、桜の花を写真に収めようとカメラを構える人もいました。また、入学入園を控えた子どもたちを連れた家族が、満開の桜と一緒に記念撮影をする風景も。町内で撮影された桜はFacebookの写真コンテストでもご覧いただけます。